

平成 28 年度 事業計画の概要

公益財団法人仙台市市民文化事業団

平成 28 年度事業の実施方針

仙台市の震災復興計画が終了し、新たなまちづくりが進む中で、財団設立 30 周年を迎える本年度を大きな節目と捉え、変化する文化芸術面の市民ニーズに的確に対応していく。

- ・年度当初に開催される「第 6 回仙台国際音楽コンクール」の成功に向けて、万全の体制で取り組む。
- ・既存事業の総括や新規事業の開拓を進めるとともに、各事業分野において「30 周年記念事業」を実施する。
- ・指定管理者制度や劇場法などの理念に対応し、各施設での賑わいづくりや、創造型事業のプロセスにおける市民協働・人材育成に精力的に取り組み、「次の 10 年」の基盤を作る。
- ・日常的な文化芸術鑑賞機会や学習機会の充実に加え、新たに「せんだい 3.11 メモリアル交流館」の運営に当たるなど、震災の記憶を後世に残す事業や被災者・地域に寄り添う事業を、引き続き重点的に実施する。
- ・交流人口の拡大に向け、国内外の他地域との連携事業に力を注ぎ、東北を牽引する文化財団としての機能強化を図る。
- ・仙台市の文化振興施策と緊密に連携し、外部資金の拡充により事業体系を充実させるとともに、職員の意識、能力の向上を図り、公益財団法人として健全かつ適切な組織運営を継続する。

平成 28 年度事業の概要（経費／単位千円）

（1）支援、協働、人材育成事業

芸術表現や事業制作、学習など、市民自ら行う文化活動に対して、安全・快適で使い易い文化施設の提供をはじめとし、生涯学習の支援、広報活動の支援、事業費の一部助成、助言や協働、表現者や制作者の育成事業などを行う。

併せて、当事業実施の過程で、当事業団が自主事業を企画・実施する際に必要となる地域文化情報の把握や人的ネットワークづくり、文化的コミュニティ醸成に努める。

ア. 施設の貸出・維持管理運営及び利用者への支援・協力

- ・仙台市青年文化センター 管理運営（352,773）/No. 148
- ・泉文化創造センター管理運営（130,729）/No. 149 ※(株)東北共立、(株)石井ビル管理とのグループ
- ・仙台市歴史民俗資料館 管理運営（65,933）/No. 98
- ・富沢遺跡保存館 管理運営（79,894）/No. 108
- ・仙台市縄文の森広場 管理運営（41,077）/No. 121

- ・仙台文学館 管理運営 (180,027) /No. 137
- ・せんだいメディアテーク 管理運営 (592,687) /No. 150
- ・せんだい演劇工房 10-BOX 管理運営 (27,235) /No. 81
- ・せんだい 3.11 メモリアル交流館 管理運営 (48,786) /No. 82

イ. 市民企画事業への広報支援・助成・協働

- ・支援・助成・協力事業 (20,903) /No. 58

ウ. ボランティア、地域、教育機関等との協働

- ・イズミティ 21 市民協働ロビーイベント (511) /No. 32②
- ・仙台国際音楽コンクールボランティア運営 (3,516) /No. 77
- ・各ミュージアムボランティア運営 /No. 114 ほか
- ・各ミュージアム 教育機関や地域との連携事業 /学校・地域連携促進事業 /No. 88 ほか

エ. 人材育成

- ・(30周年記念事業) LECTURES/レクチュアズ (5,130) /No. 19
- ・(30周年記念事業) 東京芸術大学音楽学部早期教育プロジェクト in 仙台 (1,672) /No. 20
- ・10-BOX 夏の学校 (2,209) /No. 49
- ・舞台スタッフ☆ラボ (702) /No. 52
- ・せんだい短編戯曲賞 (1,715) /No. 51
- ・仙台ジュニアオーケストラ運営 (27,696) /No. 80

【せんだい 3.11 メモリアル交流館 管理運営】

仙台市の東日本大震災メモリアル施設として地下鉄東西線荒井駅舎に併設され、平成 28 年 2 月に開館した当施設の管理運営を、仙台市まちづくり政策局からの委託事業として行う。年 4 回程度の企画展やワークショップ等イベントの開催、情報発信事業、年 1 回のフェスティバル等を予定。

【仙台ジュニアオーケストラ運営】

設立から 27 年目を迎える今年度は、秋・春の定期演奏会のほか、3 年に 1 度開催のジュニアオーケストラ・フェスティバル（於新潟市）への参加や、サントリー復興基金により震災後 5 か年に渡ってワークショップを受けてきたウィーンフィルのメンバーと、「サントリー特別公演」（於東京・サントリーホール）に出演する。

(2) 普及、啓発事業

主に文化芸術の鑑賞層を対象とし、芸術や文化全般の魅力を広く普及していくための事業を幅広く展開し、アーティストや制作者を支える観客・サポーターやスポンサーの裾野を広げる。

当事業団ならではの特色ある公演や企画展、文化講座や体験ワークショップ、教育・福祉・まちづくりの現場に「芸術の力」を届けるアウトリーチ事業、文化情報誌の編集・発行やホームページ運営などの広報事業、イベント鑑賞友の会の運営などを行い、前掲(1)の市民文化活動支援と併せ双方で事業を展開することにより、地域文化の総合的な底上げを図る。

ア. 鑑賞公演

- ・(30周年記念事業) ユジャ・ワン ピアノリサイタル (6,290) /No. 5
- ・(30周年記念事業) オペラ公演『ラ・ボエーム』(16,287) /No. 7
- ・(30周年記念事業) 劇場・音楽堂等間ネットワーク構築支援事業 演劇公演『遠野物語～奇ツ怪其の参』(11,281) / No. 9
- ・(30周年記念事業) ライブ文学館スペシャル「向田邦子が描いた家族」(2,940) /No. 15

- ・宝塚歌劇花組仙台公演 (26, 363) /No. 25
- ・仙台クラシックフェスティバル 2016 (79, 941) /No. 26
- ・古典芸能【仙台青葉能、文楽公演、能-BOX 経常事業、市民能楽講座等】 (5, 371) /No. 29、50、53
- ・新春いずみ寄席 (3, 193) /No. 28
- ・れきみん秋祭り (2, 692) /No. 33
- ・ライブ文学館 (2, 437) /No. 45
- ・劇場・音楽堂等活性化事業【小中学校オーケストラ鑑賞会、オーケストラ・スタンダード、こまつ座公演】 (87, 619) /No. 30

イ. 展示事業

- ・歴史民俗資料館 特別展「仙台・昔と今の暮らし」(1, 975) /No. 100
- ・富沢遺跡保存館 特別企画展「先史時代の精神文化」(仮) (2, 198) /No. 110
- ・仙台文学館 特別展「まど・みちおの世界展」(4, 379) /No. 139
- ・歴史民俗資料館 企画展 (1, 774) /No. 101、102
- ・富沢遺跡保存館 企画展 (191) /No. 111～113
- ・縄文の森広場 企画展 (35) /No. 123
- ・仙台文学館 特別展・企画展 (5, 407) /No. 141～143

ウ. 講座・ワークショップ等

- ・各ミュージアムでの講座・ゼミナール・ワークショップ /No. 86、102、113 ほか
- ・ホール見学会 (青年文化センター、イズミティ 21) /No. 31⑥、32③

エ. アウトリーチ

- ・ワークショップ 五感で詩を楽しむ (305) /No. 66
- ・仙台市震災復興のための芸術家派遣事業 (0) /No. 61 ※実行委員会に加わり事務局を運営

オ. 文化芸術情報の提供・広報

- ・広報事業 (5, 304) /No. 70
- ・事業団友の会運営 (3, 395) /NO. 71

■30周年記念事業

【ユジャ・ワン ピアノリサイタル】 9/5

第1回仙台国際音楽コンクールで3位入賞の後目覚ましい活躍を遂げ、現在クラシック界の最先端にいるピアニストのリサイタルを開催する。

【オペラ公演『ラ・ボエーム』】 11/9

本格オペラを手の届きやすい価格で提供する。

【劇場・音楽堂等間ネットワーク構築支援事業 演劇公演『遠野物語～奇ツ怪 其の参』】 12/3、4

次世代の演出家として高い評価を得ている前川知大の新作舞台作品を、ネットワークを用い全国5館で上演する。

【ライブ文学館スペシャル「向田邦子が描いた家族」】 3月

没後35年を経てなお多くの読者を魅了してやまない向田作品の朗読と、向田和子氏によるトーク。

■経常事業

【宝塚歌劇花組仙台公演】 9/17、18

第1部ミュージカル、第2部レビューの構成で上演する。

【仙台クラシックフェスティバル 2016】 9/30～10/2

仙台の秋の風物詩として定着した「せんくら」の11回目の開催。今回のキーワードは「新しい才能、新しいせんくら」。

(3) 交流、創造、発信事業

仙台圏と他の地域の人材が交流し、共通認識を持って協働していくと共に、長期的継続も視野に入れながら、作品や事業を作りあげ、広く社会に成果を発信していく。

参加者・関係者・観客などの立場で事業に関わり触発された若い人材が、年月を経て指導者やプロデューサーとなり、次の若い人材を励まし育てていくような世代循環の流れも重視しながら、地域文化リーダーの育成やコンテンツの創造、都市間交流、都市ブランドの醸成など、さまざまな成果を期待し、市民協働・プロデュース型事業を推進する。

ア. 顕彰制度・コンクール等

- ・第6回仙台国際音楽コンクール運営事業 (320,602) /No. 73～79
- ・(再掲) せんだい短編戯曲賞 /No. 51
- ・ことばの祭典－短歌・俳句・川柳への集い (551) /No. 86
- ・土井晩翠顕彰会の支援 (晩翠わかば賞・晩翠あおば賞) (0) /No. 92

イ. プロデュース公演・企画公演・展示事業

- ・(30周年記念事業) 劇場・音楽堂等活性化事業【小池博史ブリッジプロジェクト・東北タップダンス&アートフェスティバル他】(33,219) /No. 1
- ・(30周年記念事業) 市民参加型創作ミュージカル (仮称)『仙台ねこ』(5,615) /No. 18
- ・(30周年記念事業) 縄文祭復元事業 (2,470) /No. 16, 43
- ・(30周年記念事業) 戯曲賞関連上演 (2,296) /No. 2
- ・(30周年記念事業) ミュージウム・シアター「狩人登場」(1,600) /No. 14、41
- ・(再掲) 仙台クラシックフェスティバル 2016 /No. 26
- ・せんだい・アート・ノード・プロジェクト (30,000) /No. 96
- ・メディアテーク「調査と表明 (1) (2) R&D」(22,699) /No. 93、94

ウ. グッズ製作・出版

- ・(30周年記念事業) RE:プロジェクト記録集出版事業 (3,939) / No. 22
- ・(30周年記念事業)「コミュニティ・アーカイブのつくりかた」出版事業 (1,700) /No. 23
- ・ミュージウムグッズ開発・販売 (1,553) /No. 47

■経常事業

【第6回仙台国際音楽コンクール】5月～6月

13の国と地域から、予備審査で選ばれた81名の若き才能が出場し、競演する。ヴァイオリン部門＝5月21日～6月5日、ピアノ部門＝6月11日～26日。

【せんだい・アート・ノード・プロジェクト】通年

優れた現代アートの持つ発見性、吸引力、発信力を活用しながら、市民とともに地域が抱える課題に向き合うアートプロジェクトを展開する。前年度の調査を経て臨む当年度は、3か年スパンの1期の初年度として、市内複数個所の「アーティスト・イン・レジデンス」候補地での下地作り等を行う。

■30周年記念事業

【小池博史ブリッジプロジェクト『KENJI』&『風の又三郎』】4月～11月

宮沢賢治の哲学をモチーフとした市民の舞台創作プログラム『KENJI』と、仙台版新演出による『風の又三郎』の公演を、全国4劇場で連携・上演する。

【東北タップダンス&アートフェスティバル】 3月

仙台市出身の世界的タップ・ダンサー熊谷和徳氏を中心とした、仙台発のアートフェスティバル。世界レベルのパフォーマンス公演とワークショップなど。

【市民参加型創作ミュージカル(仮称)『仙台ねこ』】

日立システムズホールを拠点に、本格的な舞台作品作りを目指す事業として、オリジナル・ミュージカルを創作し平成 29 年度に上演する。

当年度は、テーマとクリエイティブスタッフの決定及び参加者公募を行い、夏休み以降に練習を開始。

【RE:プロジェクト 記録集出版事業】

平成 23 年度から 27 年度まで展開し、成果を得た「RE:プロジェクト」の 5 か年分の記録集を出版する。

(4) 総合、その他

文化芸術における分野ごとの調査や研究、ミュージアム常設展などを支える資料収集と保存、財団全体の事業進行管理・調整・評価・内部研修など、事業全体の成果向上のため必要となる総合的な事業を行う。また、震災の記憶を風化させないための記録プロジェクトを継続する。

ア. 調査・研究

- ・歴史民俗調査研究・報告 (797) /No. 106
- ・考古学調査研究・報告の刊行 (190) /No. 115
- ・地底の森ミュージアム遺構分析調査 (345) /No. 118

イ. 資料収集・保存

- ・歴史民俗資料収集 (1, 983) /No. 104
- ・文学資料収集・保管 (4, 405) /No. 144
- ・メディアテークライブラリー運営等 (10, 233) /No. 151
- ・地域文化アーカイブ (1, 897) /No. 95②
- ・震災の記録 市民協働アーカイブ事業 (14, 638) /No. 84

ウ. 内部評価・制作管理・職員研修他

- ・管理運営施設(全施設対象)利用者アンケート、職員研修 /No. 72